

第73回

トラック運送業界の景況感（速報）

平成23年1月～3月期

3月11日に発生した東日本大震災及び福島第一原発事故で国内景気は急速に冷え込んだ。震災前の1月、2月にかけては自動車、鉄鋼、機械などがけん引役となり景気判断も足踏み脱却とみられていたが、計画停電やサプライチェーンの寸断により生産活動は急激に停滞した。燃料高も深刻化している。

トラック運送業界でも業界の景況感は▲59となり前回（▲35）から24ポイント悪化した。特積貨物（宅配含む）は底堅かったが、一般貨物は悪化した。地域別では全ての地域で指標の悪化がみられ、特に東北^{*1}は64ポイント悪化した。一方、近畿、四国は相対的に下げ幅が小さかった。

4～6月期以降も電力使用自粛が続くことから、判断指標は今期よりも29ポイント悪化の▲88が見込まれている。

平成23年5月10日

社団法人 全日本トラック協会

*1 震災の影響を鑑み、岩手県、宮城県、福島県の全域及び青森県八戸市に立地する事業者は今回対象外としている。

1. 今回（平成23年1月～3月期）の状況

(1) 概況

平成23年1～3月期におけるトラック運送業界の景況感は、「好転」とした事業者は7%（前回11%）、「悪化」とした事業者は54%（前回40%）で、判断指標は▲59となり、前回から24ポイント悪化した（前回▲35）。

貨物別では、宅配を含む特積貨物は底堅かった。一般貨物は悪化した。

なお、今回調査では岩手県、宮城県、福島県の全域及び青森県八戸市に立地する事業者を調査対象としていないため、実勢はさらに悪化していることが予想される。

(2) 特別積合せ貨物

宅配貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が40%、「増加」とする事業者が22%で、判断指標は▲27となり、前回（▲31）から4ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が43%、「増加」とする事業者が24%で、判断指標は▲29となり、前回（▲36）から7ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が43%、「増加」とする事業者が19%で、判断指標は▲33となり、前回（▲51）から18ポイント改善した。

宅配以外の特積貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が38%、「増加」とする事業者が25%で、判断指標は▲19となり、前回（▲17）から2ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が39%、「増加」とする事業者が24%で、判断指標は▲22となり、前回（▲22）と同じであった。営業利益は「減少」とする事業者が41%、「増加」とする事業者が18%で、判断指標は▲30となり、前回（▲30）と同じであった。

(3) 一般貨物

一般貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が44%、「増加」とする事業者が20%で、判断指標は▲28となり、前回（▲12）から16ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が45%、「増加」とする事業者が21%で、判断指標は▲32となり、前回（▲14）から18ポイント悪化した。営業利益は「減少」とする事業者が50%、「増加」とする事業者が16%で、判断指標は▲44となり、前回（▲29）から15ポイント悪化した。

(4) 運賃水準

運賃水準は、宅配貨物は▲37（前回▲38）、宅配以外の特積貨物は▲25（前回▲30）、一般貨物は▲24（前回▲20）でほぼ横ばいとなっている。

(5) 実働率等

実働率は▲22（前回▲8）、実車率は▲18（前回▲7）で、ともに水準を下げている。

雇用状況（人手の過不足）は、大きな過剰感はないものの指標は下がり、▲6（前回+5）となった。採用状況は▲8（前回▲9）でほぼ横ばい、所定外労働時間の指標は▲12でやや水準を下げている（前回▲4）。

保有車両台数は▲9（前回▲15）でやや水準を上げている。貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は▲19（前回▲15）で、僅かに水準を下げている。

(6) 地域別および取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、東北^{*2}は大幅悪化で、前回から64ポイント下げている。近畿、四国は相対的に水準が良く、前回からの悪化幅も全体と比べれば小さい。

事業者の規模別では、小規模事業者、中規模事業者で水準が低い。

主な取扱い品目別では、機械関連貨物は前回から51ポイント悪化して、最も水準が低い。建設関連貨物、消費関連貨物も悪化している。

2. 今後（平成23年4月～6月期）の見通し

(1) 概況

平成23年4～6月期については、1～3月期の落ち込み以上に厳しい見通しをもっている。業界の景況感の判断指標は▲88で29ポイント悪化する見込み。

(2) 特別積合せ貨物

宅配貨物は、輸送数量、営業収入、営業利益とも25ポイントを超える悪化となる見込み。

宅配以外の特積貨物も、輸送数量、営業収入、営業利益とも20ポイントを超える悪化となる見込み。

(3) 一般貨物

一般貨物も、輸送数量、営業収入、営業利益とも20ポイントを超える悪化となる見込み。

(4) 運賃水準

宅配貨物は水準をやや上げる見込み。宅配以外の特積貨物は大きな変化はない見込み。一般貨物は水準をやや下げる見込み。

(5) 実働率等

実働率、実車率とも約20ポイント悪化する見込み。

雇用状況（人手の過不足）はやや水準を下げるものの過剰感はない見込み。採用状況はやや水準を下げる見込み。所定外労働時間は水準を下げ、やや減少となる見込み。

保有車両台数はほぼ横ばいが続く見込み。貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は水準を下げ、やや減少となる見込み。

(6) 地域別および取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、東北に加え中部も大幅悪化となる見込み。特に中部は見通しの下げ幅が顕著である。関東、中国も厳しい見込み。

事業者の規模別では、中規模事業者の水準が特に低く、大規模事業者でも下げ幅を拡大させる見込み。

主な取扱い品目別では、機械関連貨物は今回よりもさらに水準を下げ、大幅減少となる見込み。建設関連貨物は悪化幅が相対的に小さい見込み。

^{*2} ただし岩手県、宮城県、福島県の全域及び青森県八戸市に立地する事業者は含まれていない。

3. 特積貨物の概況

項 目		概 況
宅	輸送数量	前回 0 23 32 35 10 (-31) 今回 1 21 38 30 10 (-27) 見通 0 9 40 42 10 (-53)
	営業収入 (売上高)	前回 0 20 35 33 12 (-36) 今回 1 23 33 32 11 (-29) 見通 0 10 37 41 13 (-56)
	営業利益	前回 0 11 40 38 12 (-51) 今回 2 17 38 32 11 (-33) 見通 0 11 33 44 13 (-58)
	運賃・料金の水準	前回 0 1 65 29 5 (-38) 今回 1 5 58 28 8 (-37) 見通 1 10 55 27 8 (-31)
配		・やや減少だが、前回より僅かに改善した。地域別では四国、九州、北陸信越は相対的に水準がよい。東北、近畿は水準が低い。 ・今後は水準を下げる見込み。
		・やや減少だが、前回よりやや改善した。地域別では四国、九州、北陸信越は相対的に水準がよい。東北、近畿、中部は水準が低い。 ・今後は水準を下げる見込み。
貨		・やや減少だが、前回より改善した。地域別では九州、関東は相対的に水準がよい。東北は大幅減少となった。 ・今後は水準を下げる見込み。
		・前回とはほぼ同様のやや下落が続く。地域別では近畿、中部のみ前回から水準を下げていく。東北、中国、北海道では下落に歯止め。北陸信越、四国は低水準が続いている。 ・今後はやや改善するが、水準としてはやや下落が続く見込み。
物		

【調査の概要】

- ◆平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。
今回は平成23年4月5日に配布。
平成23年4月30日到着分までを集計。
- ◆回収率：71.0%

	特 積	一 般	合 計
調査対象	2 4 1	6 0 5	8 4 6
回収数	1 2 1	4 8 0	6 0 1

- ◆従来は全国900事業者を対象としてきたが、今回は東日本大震災（平成23年3月11日発生）の影響を鑑み、岩手県、宮城県、福島県、青森県八戸市に立地する事業者（計54件）への発送を控えた。このため前回調査（平成22年10～12月期、速報ベース）では東北の回答数は50事業者（全国で615事業者）であったが、今回調査（速報ベース）では13事業者（全国で601事業者）となっている。

項 目		概 況	
宅配以外の特積貨物	輸送数量	前回 0 (-17) 今回 0 (-19) 見通 0 (-43)	
	・前回とはほぼ同様の横ばいであった。地域別では東北の水準が低い。九州、中部は相対的に水準がよい。 ・今後は水準を下げる見込み。		
	営業収入 (売上高)	前回 0 (-22) 今回 0 (-22) 見通 0 (-43)	
	・前回とはほぼ同様のやや減少であった。地域別では東北の水準が低い。九州、中部は相対的に水準がよい。 ・今後は水準を下げる見込み。		
	営業利益	前回 0 (-30) 今回 1 (-30) 見通 0 (-51)	
貨物	・前回と同様のやや減少であった。地域別では九州、中部は相対的に水準がよい。東北は大幅減少となった。 ・今後は水準を下げる見込み。		
	運賃・料金の水準	前回 0 (-30) 今回 0 (-25) 見通 0 (-25)	
		・やや下落だが、前回よりはやや改善した。地域別では、北陸信越は前回と同様の厳しい水準となっている。北海道、東北、中国などでは下落に歯止め。 ・今後も今回とほぼ同様で、水準としてはやや下落が続く見込み。	

凡例

	大幅に	増加・上昇・好転・人手不足	+2点
	やや	増加・上昇・好転・人手不足	+1点
	横ばい		0点
	やや	減少・低下・悪化・人手過剰	-1点
	大幅に	減少・低下・悪化・人手過	-2点

(注1) 各グラフの上段は前回の状況、中段は今回の状況、下段は今後の見通しを示す。

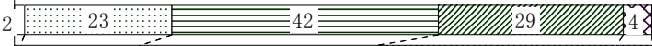
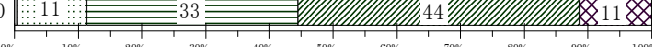
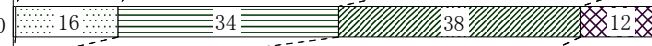
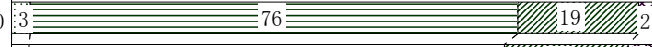
(注2) 各グラフの構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

(注3) グラフ右のカッコ内は業況判断指標。指標は、各設問の回答に対し、増加・好転+1～+2、横ばい0、減少・悪化-1～-2の点数を与え、1事業者当たりの平均を100倍することにより算出している。

A (設問Aの回答者数) = $a_1 + a_2 + a_3 + a_4 + a_5$ (設問Aの選択肢1～5の回答数の和)

指標 = $\{ (+2 \times a_1) + (+1 \times a_2) + (0 \times a_3) + (-1 \times a_4) + (-2 \times a_5) \} \div A \times 100$

4. 一般貨物の概況

項 目	概 況
輸送数量 (全 体)	前回 2  (-12) 今回 1  (-28) 見通 0  (-55) 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ・前回から悪化し、やや減少となった。地域別では東北が大きく水準を下げ、減少となっている。品目別では、機械関連貨物の落ち込みが大きい。 ・今後も水準を下げる見込み。
営業収入 (売上高)	前回 1  (-14) 今回 1  (-32) 見通 1  (-59) 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ・前回より悪化し、やや減少となった。地域別では東北が大きく水準を下げ、大幅減少となっている。品目別では、機械関連貨物の落ち込みが大きい。 ・今後も水準を下げる見込み。
営業利益	前回 1  (-29) 今回 0  (-44) 見通 0  (-68) 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ・前回より悪化し、やや減少が続く。地域別では東北、中国が大きく水準を下げ、東北は大幅減少、中国は減少となっている。北海道も減少。品目別では、機械関連貨物の落ち込みが大きい。 ・今後も水準を下げ、減少となる見込み。
運賃・料金の水準	前回 0  (-20) 今回 0  (-24) 見通 0  (-30) 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ・前回より僅かに水準を下げた。地域別では、中国、東北は水準を下けているが、近畿はやや水準を上げ下落に歯止め。 ・今後はやや水準を下げる見込み。

5. 共通の概況

項 目	概 況
実 働 率	前回 1 18 56 23 3 (-8) 今回 0 15 52 27 5 (-22) 見通 0 10 47 34 9 (-42) ・ 前回より水準を下げている。地域別では東北の水準が低い。規模別では大規模事業者は相対的に水準がよい。品目別では機械関連貨物、建設関連貨物の水準が低い。 ・ 今後も水準を下げる見込み。
実 車 率	前回 1 18 58 21 3 (-7) 今回 1 15 55 25 4 (-18) 見通 0 9 50 32 8 (-39) ・ 前回より水準を下げている。地域別では東北の水準が低い。規模別では大規模事業者は相対的に水準がよい。品目別では機械関連貨物の水準が低い。 ・ 今後も水準を下げる見込み。
雇用状況 (人手の過不足)	前回 1 16 73 10 1 (5) 今回 1 11 72 15 2 (-6) 見通 1 10 66 21 2 (-13) ・ 人手の過不足感はほぼないものの、指標は低下している。地域別では、東北はやや過剰、一方、四国はやや人手不足となっている。 ・ 今後もやや指標は低下するが、人手の過剰感まではない見込み。
採用状況	総求人数 前回 0 6 82 9 3 (-9) 今回 0 6 82 8 3 (-8) 見通 0 6 78 13 4 (-15) ・ 前回とほぼ同様であった。地域別では東北はやや減少となっている。 ・ 今後はやや水準を下げるか、引き続き前年並みの見込み。
所定外労働時間	前回 1 13 68 16 2 (-4) 今回 0 13 65 18 3 (-12) 見通 0 8 60 25 6 (-28) ・ 前回より水準を下げている。地域別では、北海道、東北、中部で、品目別では機械関連貨物でやや減少となっている。 ・ 今後も水準を下げる見込み。

項 目	
保有車両台数	前回 0 5 77 17 1 (-15) 今回 0 7 78 13 2 (-9) 見通 0 5 78 15 2 (-14)
・ 前回より指標は上昇している。地域別では東北のみやや減少となっている。規模別、品目別では大きな差はみられなかった。 ・ 今後は今回よりやや指標を下げるが、水準としては横ばいの見込み。	
貨物の再委託 (下請運送会社への 委託割合)	前回 1 11 63 21 4 (-15) 今回 0 12 62 21 5 (-19) 見通 1 7 60 25 7 (-31)
・ 前回より僅かに指標を下げた。地域別では東北の水準が相対的に低い。規模別では小規模事業者、品目別では機械関連貨物、建設関連貨物で相対的に水準が低い。 ・ 今後は水準を下げ、やや減少となる見込み。	
経常損益	前回 1 16 47 31 5 (-24) 今回 1 12 42 39 7 (-40) 見通 0 6 34 49 11 (-64)
・ 前回より悪化した。地域別では東北、北海道の水準が低い。四国、近畿は相対的に良い。 ・ 今後は水準を下げ、悪化となる見込み。	
業界の景況感	前回 0 11 49 34 6 (-35) 今回 0 7 39 42 12 (-59) 見通 0 5 23 51 21 (-88)
・ 前回より 24 ポイント下げた。地域別では東北は大幅悪化となっている。近畿、四国は相対的に水準が良く、前回からの悪化幅も全体と比べれば小さい。 ・ 今後はさらに 29 ポイント下げ、悪化の見込み。	

6. 事業者特性格の特徴

事業者特性	特 徴				
① 地域（注4）	・北海道は、全国順位 9 位から 8 位に上がったが、景況感は悪化。 ・東北は、全国順位 5 位から 9 位に下がり、景況感は著しく悪化。 ・北陸信越は、全国順位 6 位から 4 位に上がったが、景況感は悪化。 ・関東は、全国順位 7 位のままだが、景況感は大幅悪化。 ・中部は、全国順位 1 位から 5 位に下がり、景況感は大幅悪化。 ・近畿は、全国順位 3 位から 1 位に上がったが、景況感は悪化。 ・中国は、全国順位 4 位から 6 位に下がり、景況感は大幅悪化。 ・四国は、全国順位 2 位のままだが、景況感は悪化。 ・九州は、全国順位 8 位から 3 位に上がったが、景況感はやや悪化。 ◆「業界の景況感」の業況判断指標の地方ブロック別順位◆ H 2 2 年 10～12月期 H 2 3 年 1～3月期 H 2 3 年 4～6月期見通し 1 位 中 部 2 位 四 国 3 位 近 畿 4 位 中 国 5 位 東 北 6 位 北 陸 信 越 7 位 関 東 8 位 九 州 9 位 北 海 道 近 畿 四 国 九 州 北 陸 信 越 中 部 中 国 関 東 北 海 道 東 北 九 州 近 畿 北 陸 信 越 四 国 北 海 道 中 国 関 東 中 部 東 北 文字の凡例 標準文字:やや悪化 ゴシック:悪化 反転文字:強い悪化 <tr><td>② 規模（注5）</td><td> ・業界の景況感は、小規模、中規模事業者でとくに厳しい。大規模事業者の悪化幅は相対的に緩やか。 </td></tr><tr><td>③ 品目（注6）</td><td> ・消費関連貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準を下げた。一般貨物の輸送数量としてみると、特種品、日用品などの下げ幅が大きい。今後は食料工業品も水準を下げる見込み。 ・建設関連貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準を下げた。一般貨物の輸送数量としてみると、鉱産品などの下げ幅が大きい。今後は窯業品、金属製品などを中心に水準を下げる見込み。 ・機械関連貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準を著しく下げた。一般貨物の輸送数量としてみると、輸送機械、電気機械の下げ幅が著しい。その他機械も下げている。今後さらに下げ幅を拡大させる見込み。 ・その他貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準をやや下げた。一般貨物の輸送数量をみると、繊維工業品、紙・パルプなどの下げ幅が大きい。化学肥料は水準を上げている。今後は幅広い品目で水準を下げる見込み。 </td></tr>	② 規模（注5）	・業界の景況感は、小規模、中規模事業者でとくに厳しい。大規模事業者の悪化幅は相対的に緩やか。	③ 品目（注6）	・消費関連貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準を下げた。一般貨物の輸送数量としてみると、特種品、日用品などの下げ幅が大きい。今後は食料工業品も水準を下げる見込み。 ・建設関連貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準を下げた。一般貨物の輸送数量としてみると、鉱産品などの下げ幅が大きい。今後は窯業品、金属製品などを中心に水準を下げる見込み。 ・機械関連貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準を著しく下げた。一般貨物の輸送数量としてみると、輸送機械、電気機械の下げ幅が著しい。その他機械も下げている。今後さらに下げ幅を拡大させる見込み。 ・その他貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準をやや下げた。一般貨物の輸送数量をみると、繊維工業品、紙・パルプなどの下げ幅が大きい。化学肥料は水準を上げている。今後は幅広い品目で水準を下げる見込み。
② 規模（注5）	・業界の景況感は、小規模、中規模事業者でとくに厳しい。大規模事業者の悪化幅は相対的に緩やか。				
③ 品目（注6）	・消費関連貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準を下げた。一般貨物の輸送数量としてみると、特種品、日用品などの下げ幅が大きい。今後は食料工業品も水準を下げる見込み。 ・建設関連貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準を下げた。一般貨物の輸送数量としてみると、鉱産品などの下げ幅が大きい。今後は窯業品、金属製品などを中心に水準を下げる見込み。 ・機械関連貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準を著しく下げた。一般貨物の輸送数量としてみると、輸送機械、電気機械の下げ幅が著しい。その他機械も下げている。今後さらに下げ幅を拡大させる見込み。 ・その他貨物を扱う事業者では、前回から景況感の水準をやや下げた。一般貨物の輸送数量をみると、繊維工業品、紙・パルプなどの下げ幅が大きい。化学肥料は水準を上げている。今後は幅広い品目で水準を下げる見込み。				

（注4）地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。

（注5）規模別分類

大規模事業者：101両以上 中規模事業者：21両以上100両以下 小規模事業者：20両以下

（注6）品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

そ の 他 貨 物：石炭、原油、金属、石油、化学、紙・パルプなど

7. 景況感一覧表

		特積貨物						一般貨物			雇用関連			総合計		
		宅配貨物			宅配以外の 特積貨物											
全　　体		↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘
地 域	北海道	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	↘	↘	↘	↘	↘
	東北	→	↘	↓	↘	↘	↘	↘	↓	↓	→	↘	↘	↘	↘	↓
	北陸信越	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘
	関東	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	↘	↓	→	→	↘	↘	↘	↘
	中部	↘	↘	↓	↘	→	↘	→	↘	↓	→	→	↘	→	↘	↘
	近畿	→	↘	↘	→	↘	→	→	↘	↘	→	→	→	→	↘	↘
	中国	↓	↘	↘	↘	→	↘	→	↘	↓	→	→	→	↘	↘	↘
	四国	↘	↘	↓	↘	↘	↘	→	→	↘	→	→	→	→	→	↘
	九州	↘	→	↘	↘	→	→	↘	↘	↘	→	→	→	↘	→	↘
事業 者 規 模	小規模事業者	↓	↘	↘	→	↘	↘	↘	↘	↘	→	→	↘	↘	↘	↘
	中規模事業者	↓	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘
	大規模事業者	↘	↘	↘	→	→	↘	→	→	↘	→	→	→	→	→	↘
取 り 扱 い 品 目	消費関連貨物	↘	↘	↘	→	→	↘	→	↘	↘	→	→	→	→	↘	↘
	建設関連貨物	↘	→	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	→	↘	↘	↘	↘
	機械関連貨物	↓	↓	↓	↘	↘	↘	→	↘	↓	→	→	↘	↘	↘	↓
	その他貨物	↓	↘	↓	↘	↘	↘	→	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘

(注7) 各項目は、関連する判断指標(前年同期に対する水準)から平均値を算出。

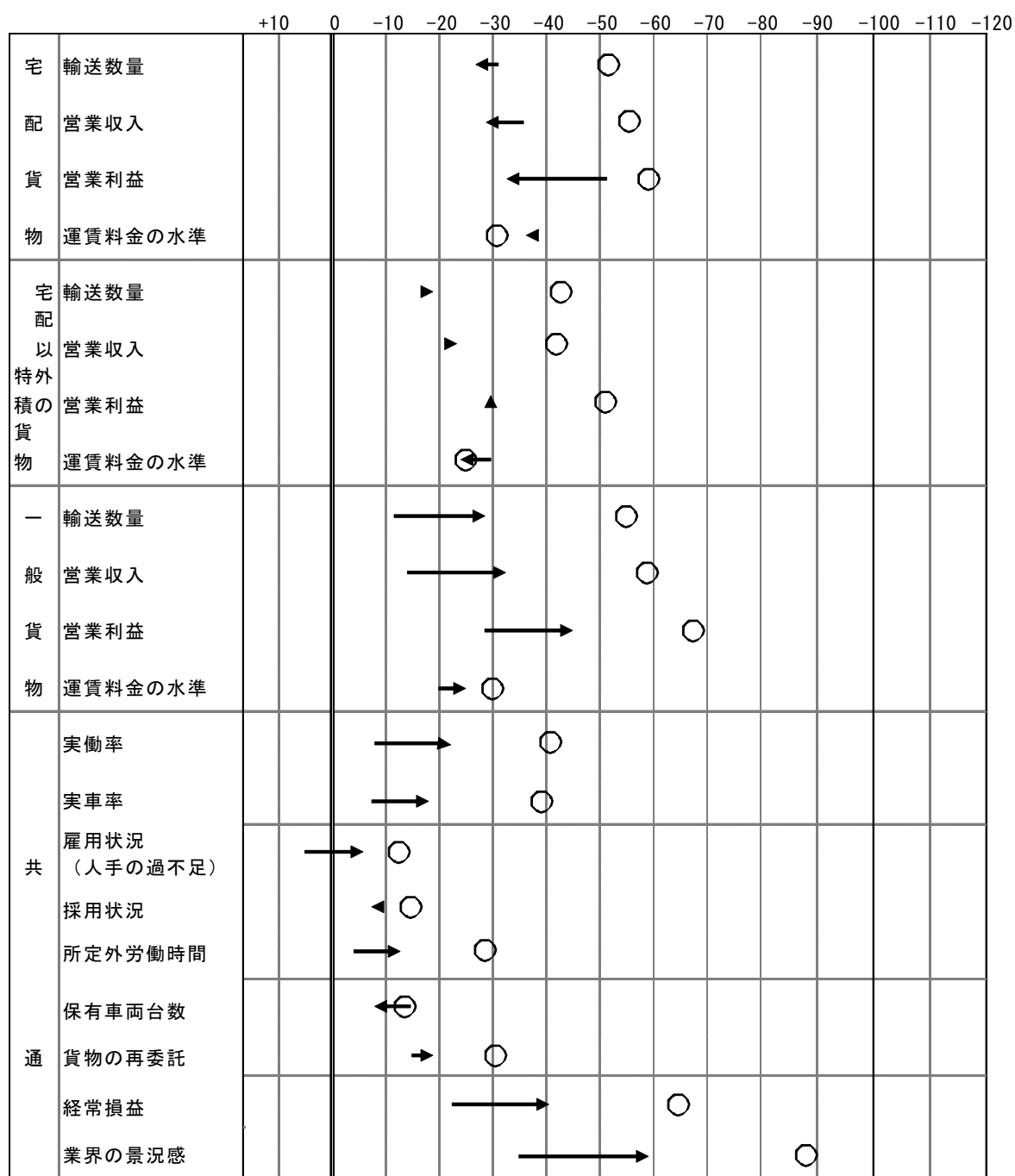
貨物別については、輸送数量、営業収入、営業利益、運賃水準の平均値で判断。

凡例・各欄は、左: 前回(10-12月) 中央: 今回(1-3月) 右: 見通し(4-6月)

・矢印と判断指標の対応

判断指標	...	-100	...	-60	...	-20	...	+20	...	+60	...	+100	...
矢 印		↓		↓		↘		→		↗		↑	

8. 業況判断指標の前回調査（平成22年10月～12月期）からの変化



凡 例

矢元：

10-12月期の実績

矢先：

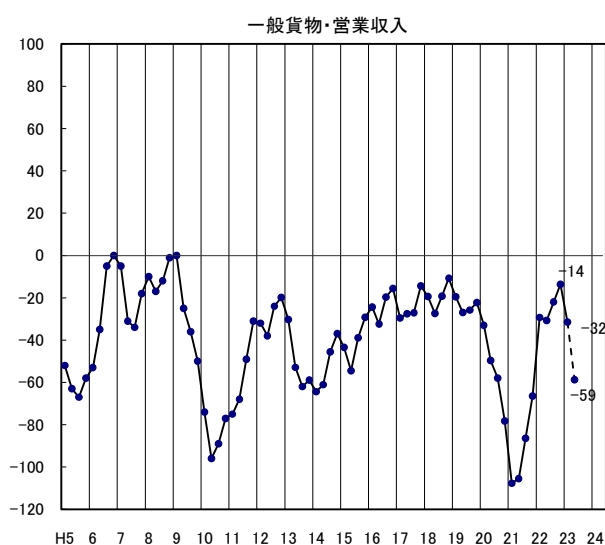
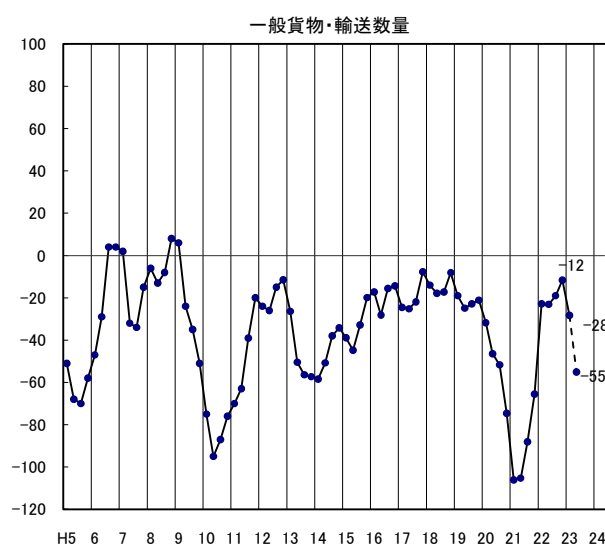
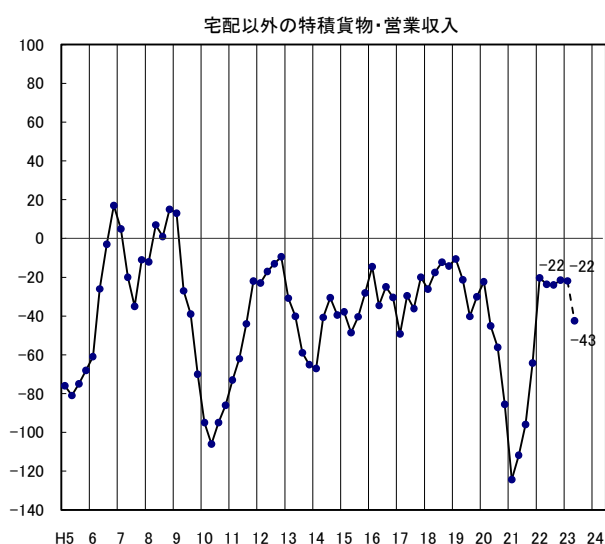
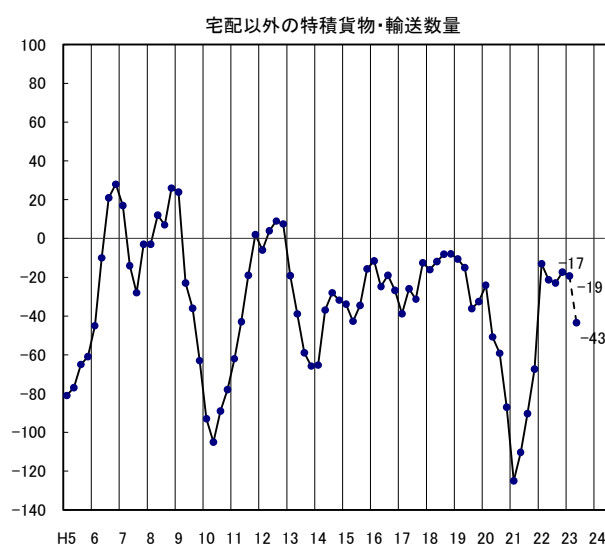
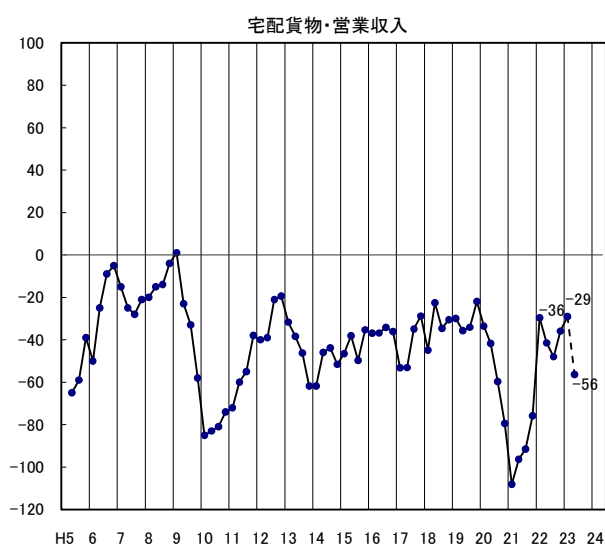
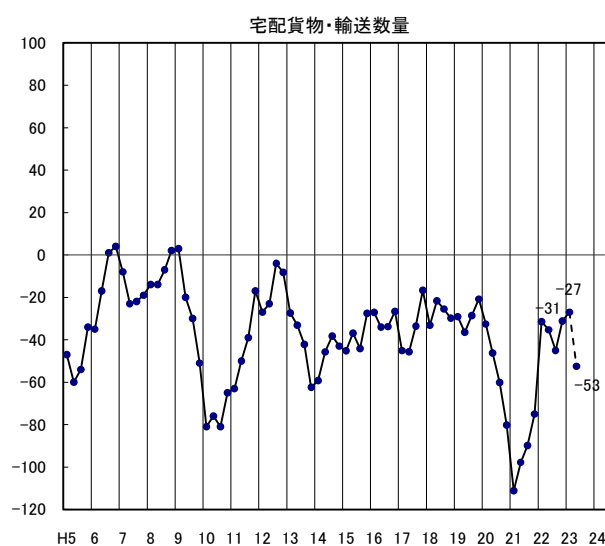
1-3月期の実績

○

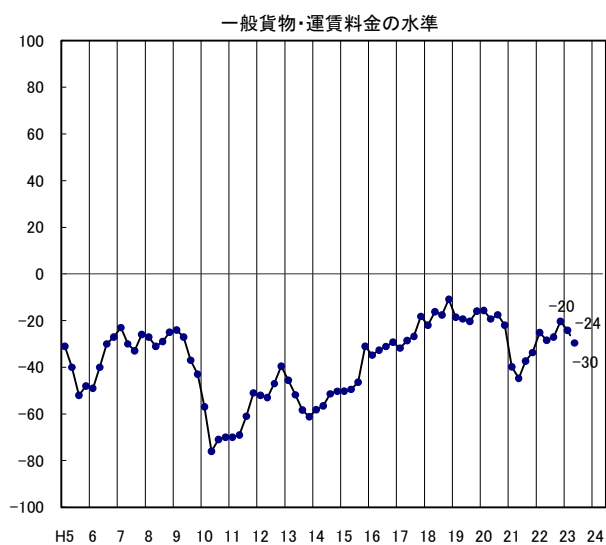
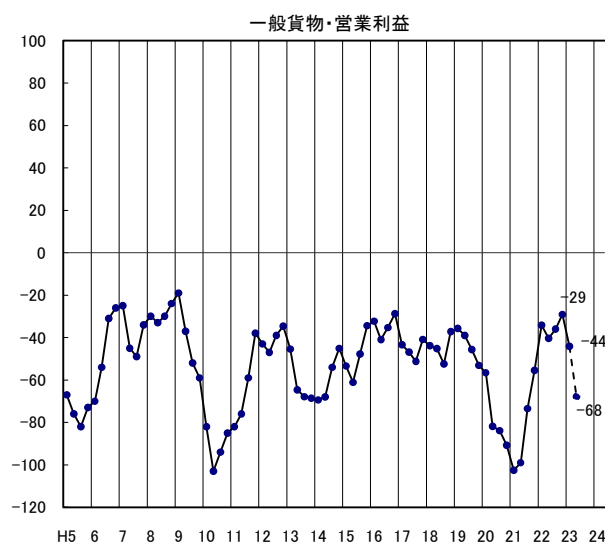
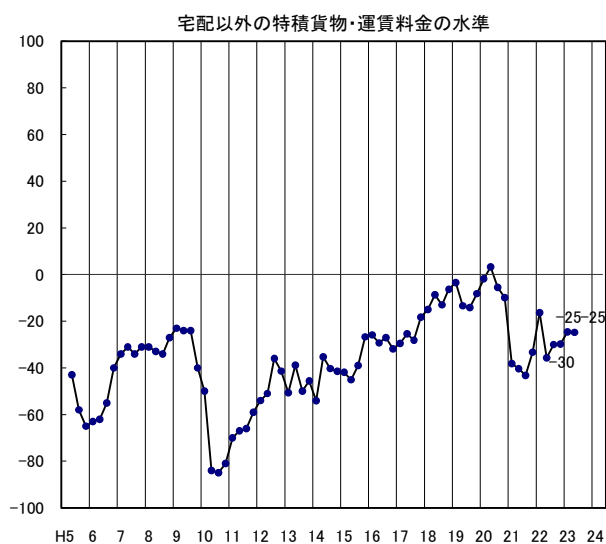
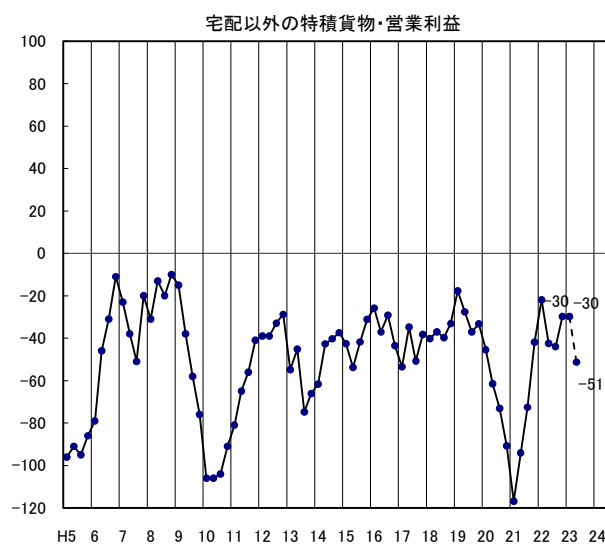
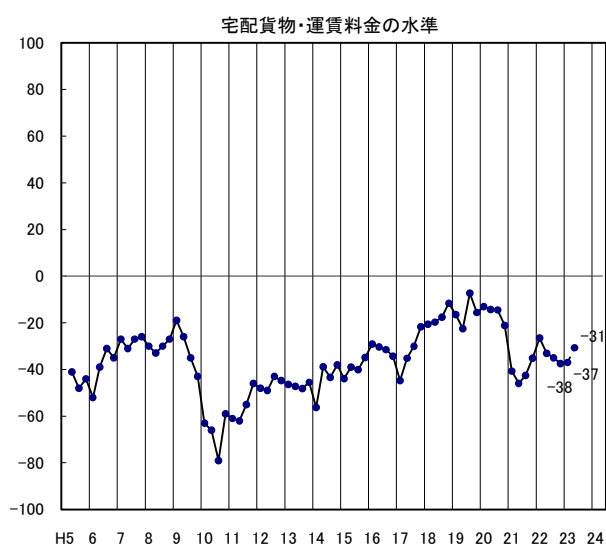
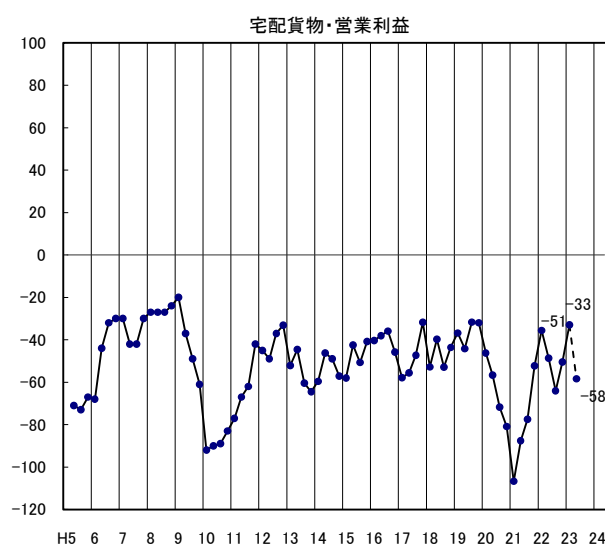
白丸：

4-6月期の見通し

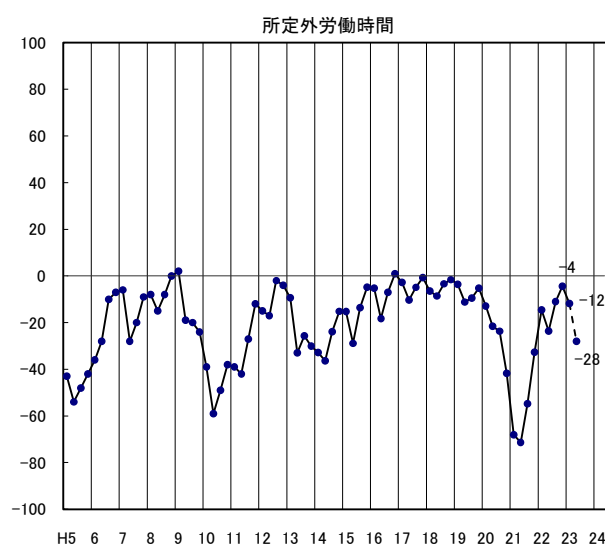
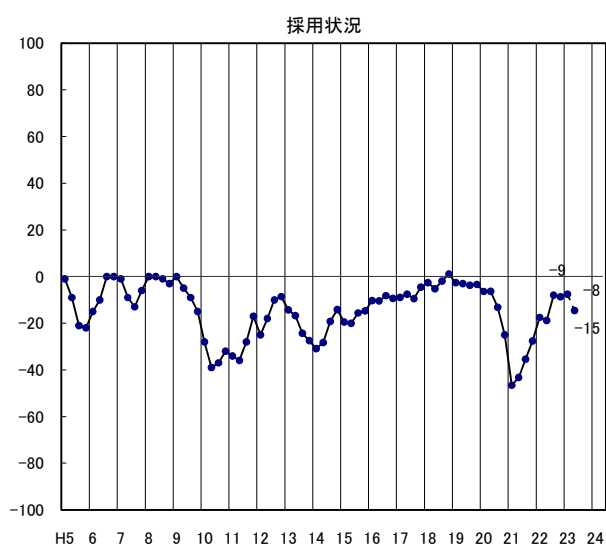
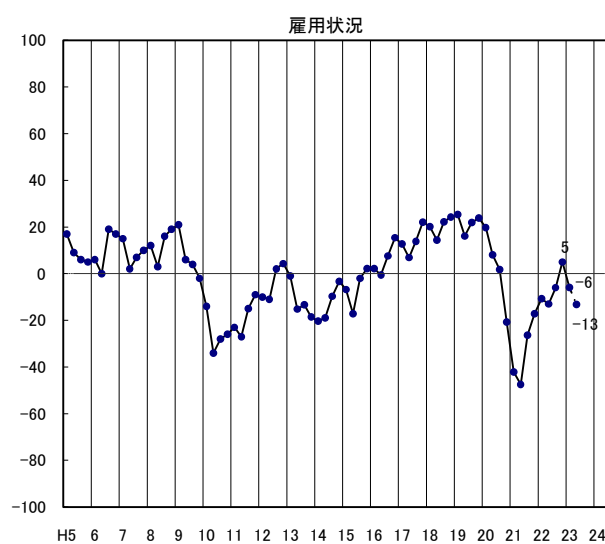
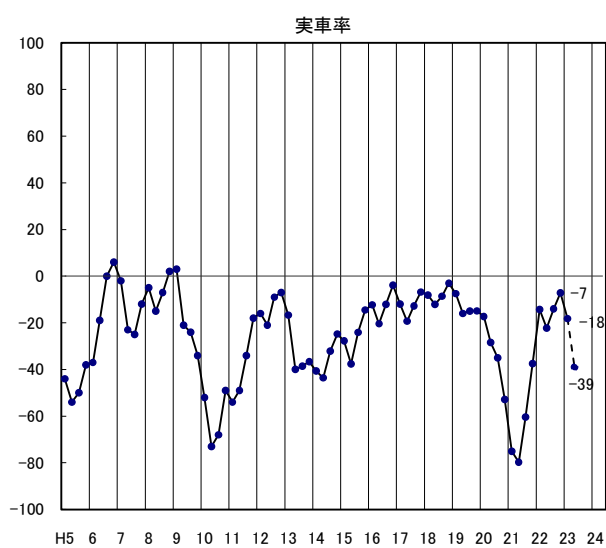
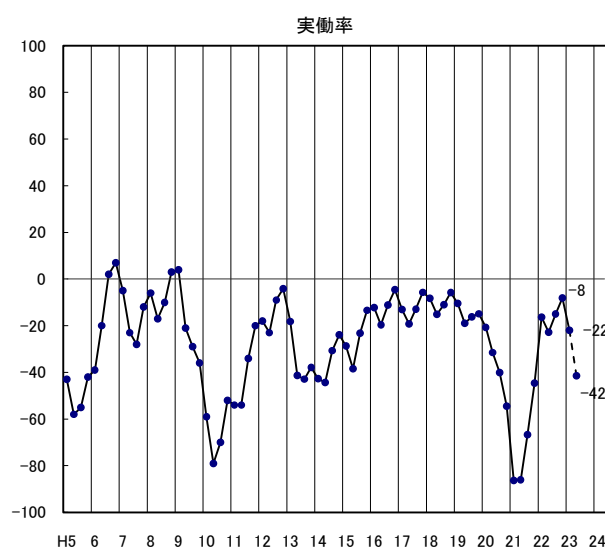
業 況 判 断 指 標 の 推 移
 平成5年第1四半期～平成23年第1四半期実績、平成23年第2四半期見通し



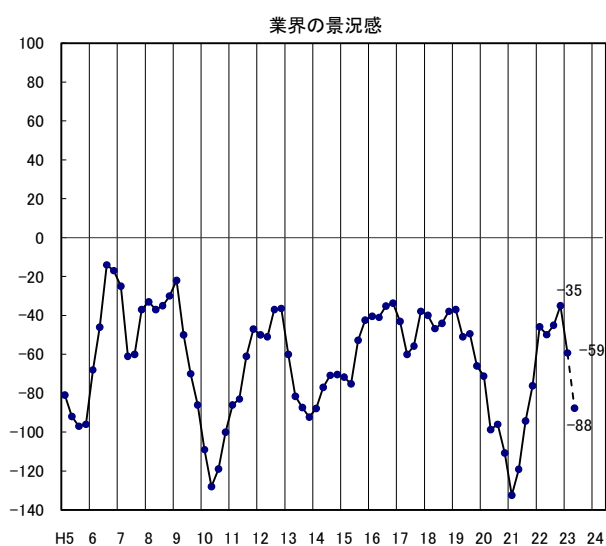
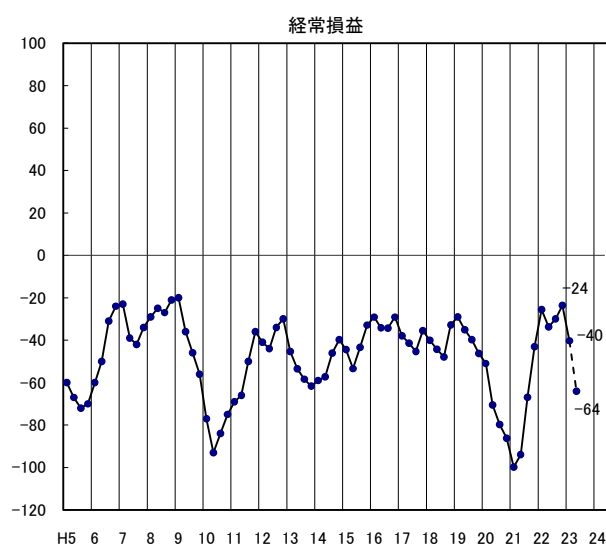
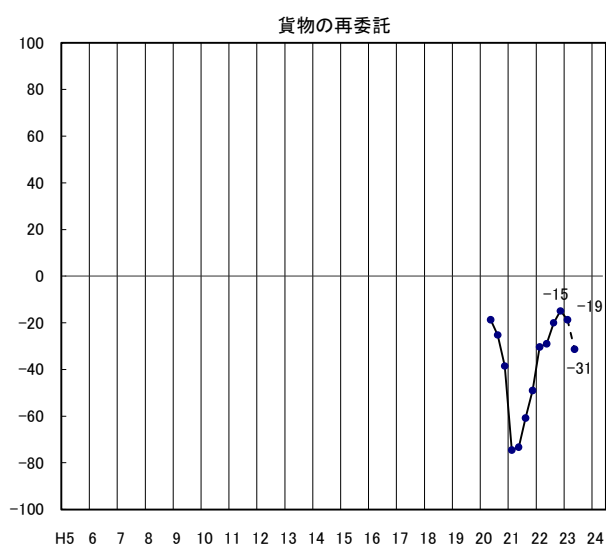
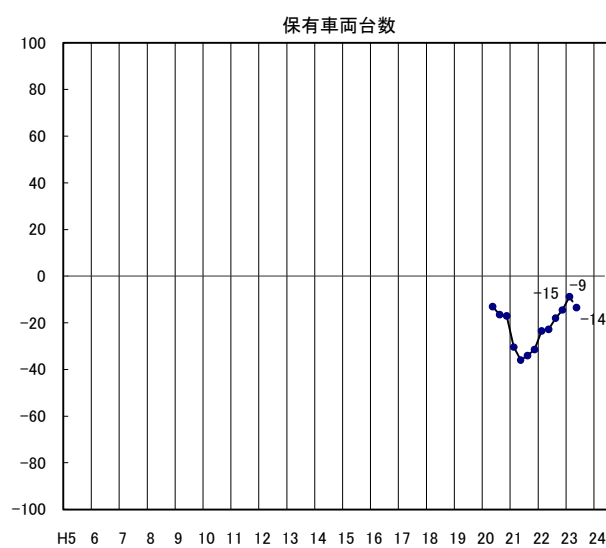
業 況 判 断 指 標 の 推 移
平成5年第1四半期～平成23年第1四半期実績、平成23年第2四半期見通し



業 況 判 断 指 標 の 推 移
 平成5年第1四半期～平成23年第1四半期実績、平成23年第2四半期見通し



業 況 判 断 指 標 の 推 移
平成5年第1四半期～平成23年第1四半期実績、平成23年第2四半期見通し



業 況 判 断 指 標 の 推 移
 平成5年第1四半期～平成23年第1四半期実績、平成23年第2四半期見通し

